

英語科学習指導案

日時 令和2年10月27日(火)第6校時

場所 南舎3階2年2組教室 (37人)

南舎3階多目的室, 南舎3階学習室

授業者 柳瀬 芽以, ALT: Octavio Jimenez

1 単元

Unit4 Homestay in the United States (NEW HORIZON ENGLISH Course 2)

2 単元のねらいとその捉え(教材観)

本単元の題材は、ホームステイ先での家庭内のルールを教わる場面や、ステイ中の相談と助言のやり取り、そして助言を受けて自分の意志を適切に述べる場面が設定されている。そして本単元で生徒は、「～をしなければならない」という義務、「～してならない」という禁止を表す表現を習得する。

本単元のねらいは、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができるようにすることである。読み手に伝わることを意識させるため、本単元の終末には日本に新しく来たALTに、日本での過ごし方について説明する活動を位置付けた。日常的な話題という視点から、単に家庭や学校のルールを考えるというのではなく、より現実的で今日的な内容として、現在の新型コロナウイルスによる新しい生活様式に焦点を当て、自分たちが求められている過ごし方について、これまでの生活とは異なる点を考える。そして自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を活用し、仲間と交流活動を設定する。

3 生徒の実態

4. 指導計画（全10時間）

時	ねらい	活動内容	評価規準
1	ホームステイなどのガイドブックに書かれたアドバイスを読み取ったり、自分の家や学校などでの決まり事について伝えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> • have to の形, 意味, 用法を理解する。 • 教科書のガイドブックから必要なこと, 必要でないことを読み取り, 内容をつかむ。 	ロ. ガイドブックを読んで, アドバイスの内容を理解することができる。(R)
2	これからしようと思っていることについて述べたり, 翌日の天気予報の情報を伝えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> • will の形, 意味, 用法を理解する。 • これからの予定について仲間と伝え合う。 	イ. 自分の意志を相手に伝えることができる (S)
3 4	咲のホームステイでの相談とその回答を読んで, その内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> • must の形, 意味, 用法を理解する。 • 教科書の内容を読み取る。 	ロ. ホームステイでの相談とその回答を読んで, その内容を理解することができる。(R)
5 6	カルロのホームステイでの相談とその回答を読んで, その内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> • must not の形, 意味, 用法を理解する。 • 教科書の内容を読み取る。 • 生活の中にあふれている禁止事項について伝え合う。 	イ. 禁止事項について述べる ことができる。(S) ロ. ホームステイでの相談とその回答を読んで, その内容を理解することができる。(R)
7 8	<ul style="list-style-type: none"> • 天気予報や天気に関する会話を聞いて, 必要な情報を聞き取ることができる。 • 家での決まり事について, 尋ねたり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 天気予報について要点を押さえながら, 情報を整理する。 • 家庭での MY RULE について尋ねたり, 答えたりする。 	イ. 家での決まりごとについてインタビューし, 仲間の意見をまとめ, 伝えることができる。(S) ロ. 天気予報を聞いて, 情報の要点を聞き取ることができる。(L)
9 本 時	新型コロナ感染予防のために求められている学校生活の義務や必要事項について自分の考えをもち, 仲間との交流活動の中で, 表現を磨き合い, 理由などを伝え合う活動を通して, 相手により伝わるような表現や考えを形成することができる。	求められている新しい生活様式について, 学校生活の義務や禁止事項などについて個人で考え, 仲間との交流活動を通して, 表現を磨き合う。	新型コロナ感染予防のために求められている学校生活の義務や必要事項について自分の考えをもち, 仲間との交流活動の中で, 表現を磨き合い, 理由などを伝え合う活動を通して, 相手により伝わるような表現や考えを形成することができる。(W) (S)
10	新しく日本にきた ALT に新型コロナウイルス予防のために求められている生活様式について説明しよう。	前時の表現を活用して, 自分の考えも付け足しながら, 具体的な場面を想定して, ポスター発表をする。	自分の考えを付け足しながら, 5文以上の英文で表現することができる。(W)

イ. 外国語表現の能力

ロ. 外国語理解の能力

ハ. 言語や文化についての知識・理解

5 研究に関わって

<研究内容2>

本時の手立て・活動 と 期待する効果

①「必然的なトピック」

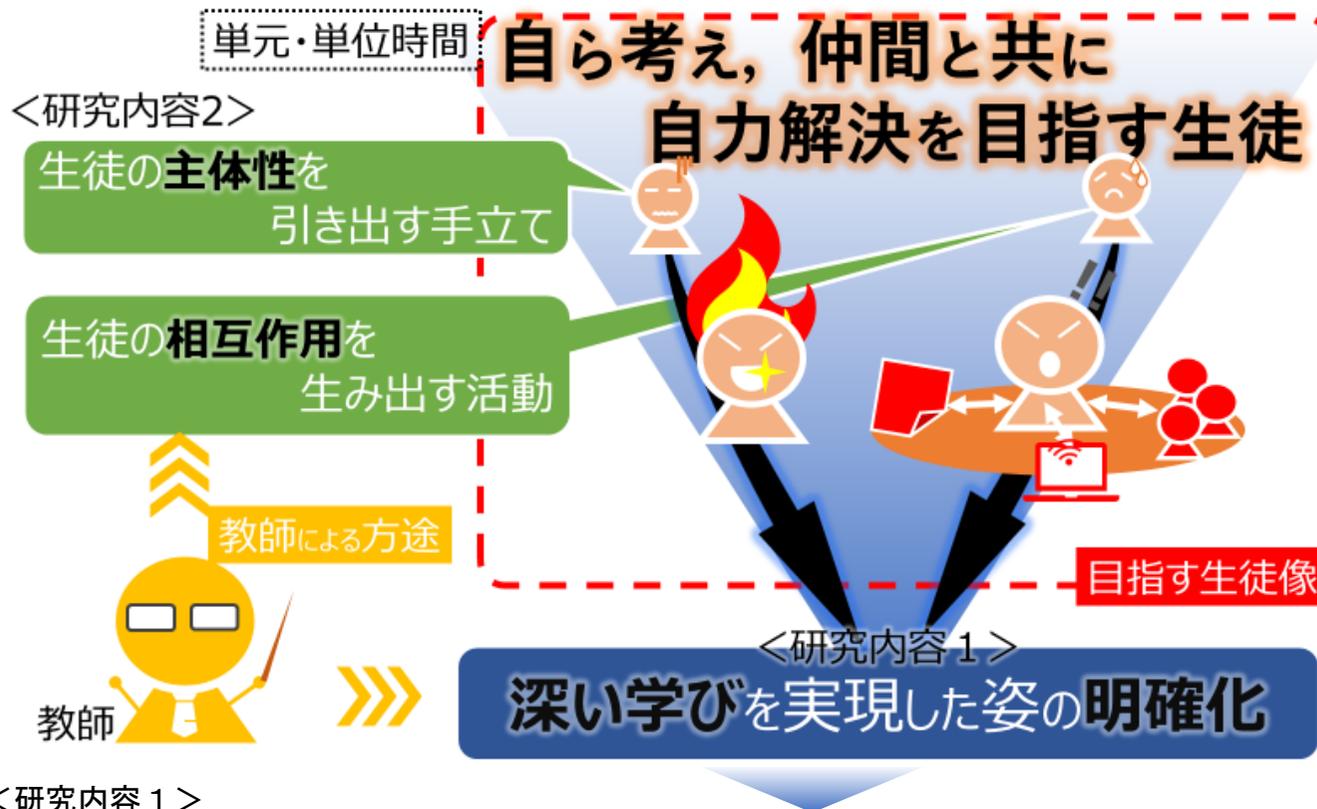
自分たちの学校生活について求められていることを、説明できるよう考えをもつ。導入時に、普段の様子を撮影した写真を活用することで、題材を現実的に考え、課題に必然性をもたせる。

また“my thoughts”という視点を与え、理由や思いなど、それぞれの考えを引き出し、生徒の主体性を引き出すことができると考える。

②グループ活動で学び合いを生み出し、自己表現へとつなげるために

付箋の色分けをすることで、考える視点を明確にさせる。また話し合う内容が整理され、自己表現へとつなげやすい。さらにはペンの色分けによって自己の変容に気づかせる。また仲間との交流が位置づけられることで、活用できる考えや表現を得ることができる。

自分の考えについて、それぞれが理由や気持ちを伝え合うことで、コミュニケーション活動がより活発になり、自己の考えを深めたり新たな発見に気づいたりすることができる。



<研究内容1>

本時の深い学び	本時の深い学びを実現した姿（具体）
<p>求められている with コロナの学校生活について、義務や必要事項を考えるなかで仲間との交流活動を通して、正しい表現方を知り、アイデアを増やすことができる。</p> <p>そして、その活動で考えを深めるために理由や気持ち等を伝えることで、読み手の納得や共感・発見へとつながり、相手により伝わりやすくなることに気が付ける。</p>	<p>We have to wear a mask. I think it is important. We must check body temperature every day. Don' t forget "body temperature card". We need to keep distance.</p> <p>「禁止事項は must not と表現できるけど、Don' t ~ ということができると分かった。 need to do ~ で必要を述べることもできるのか。検温は毎日しているから "every day" という表現を付け足そう。 マスクをつけることが求められているけど、このルールはやはり重要だと私は思う。自分の理由は多くの仲間共感してもらえた。」</p>

6 本時の学習 (9/10)

① 本時のねらい

新型コロナウイルス感染予防のために求められている学校生活の義務や必要事項について自分の考えをもち、仲間との交流活動の中で、表現を磨き合い、理由などを伝え合う活動を通して、相手により伝わるような表現や考えを形成することができる。

② 本時の展開

過程	活動内容	指導・援助, 研究について
導入	<p>1. Introduction ALT: You had our sports day two weeks ago. What were the difference last years? JTE : We had to use sports mask. ALT: What did you think about it? JTE : I think it is important. 学校生活でみられる with コロナの生活を象徴する写真をいくつか見て、自分たちの新しい生活様式を振り返る。</p>	<p>・導入部分で、自分たちの生活を振り返るために、学校や身のまわりの様子を撮影した写真を活用しながら、考えたい内容について、アイデアを列挙していく。</p>
展開	<p>2. Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Let's think about your new life with COVID-19 and tell your thoughts</p> </div> <p>3. Activity① コロナ予防のために求められている新しい生活様式について、付箋を活用し個人で黒ペンを使って書きためていく。 付箋を活用する際に、表現によって色分けをし、メモ程度に書き溜めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【登校時】 have to wear a mask. I think it is important. must check temperature.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p><付箋の色分け> 義務・必要 : 青 禁止・不必要 : 赤 考えや理由 : 黄色</p> </div> </div> <p>4. Activity② メモの付箋を基にして、グループ内で自分の考えを話す。また仲間の意見を聞いて、活用できる考えや表現があった場合、赤ペンを使って、同様に付箋に書き溜めていく。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>★ 研究内容 2 <u>生徒の主体性を引き出す手立て</u> 学校生活の写真を活用することで題材をより現実的に考え、本時の課題に必然性を持たせる。 また自分の気持ちに触れる視点を与え、主体性を引き出す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★ 研究内容 2 Activity①② <u>生徒の主体性を引き出す手立て</u> 付箋を使って、表現する意欲を高めたり、考えを整理させたりする。 ペンの色分けをすることで、自己の変容に気づかせる。</p> </div>
終末	<p>5. Sharing Time Activity②でより工夫して述べていた生徒 (例: 詳細に伝える姿) を全体で紹介したり、言えなかった表現について確認したりする。</p> <p>6. Activity③ グループ交流, 全体交流で分かったことを活用して、自分の表現を改善する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【登校時】 <rules> We have to wear a mask. I think it is important. We must check body temperature every day. Don't forget "body temperature card". We need to keep distance.</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>★ 研究内容 1 <u>深い学びを実現した姿の明確化</u> ①自分の間違いに気がついたり、英文を増やすことができたり、言いたいことの表現方法が分かったりする。 ②自分の気持ちや理由を交流活動で形成し、言語化できる。</p> </div> <p>・変容があった生徒を全体で紹介し、価値付ける。</p>
<p>新型コロナウイルス感染予防のために求められている学校生活の義務や必要事項について自分の考えをもち、仲間との交流活動の中で、表現を磨き合い、理由などを伝え合う活動を通して、相手により伝わるような表現や考えを形成することができる。【イ: 表現・ハ: 知識】 (W), (S)</p>		

★ 研究内容 1

深い学びを実現した姿の明確化

交流活動を通じて、自分の間違いに気がついたり、英文を増やすことができたり、言いたいことの表現方法が分かったりする。

「禁止事項は must not と表現できるけど、Don't ~ ということができると分かった。」

「"need to do" で必要を述べることもできるのか」

「検温は毎日しているから "every day" という表現を付け足そう」